

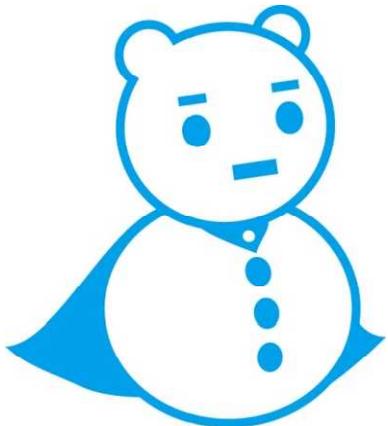
第4回 持続可能な生活道路 除排雪の在り方検討会

事務局説明資料
札幌市建設局雪対策室事業調整担当課

目次

- 1 前回の振り返りと主な意見内容
- 2 除雪ボランティア活動の取組
- 3 除排雪作業の試験施工
 - 1) 小型ロータリ除雪車による積込作業など
 - 2) 生活道路の作業手法の検討課題
- 4 意見交換やご議論いただきたい内容

1 前回の振り返りと主な意見内容



1 前回の振り返りと主な意見内容

■ 出入口前の雪処理負担の低減に向けた取組

【事務局】

- ・ 高齢化の進行などから、かき分け除雪後の雪処理の支援やボランティアを必要とする方は今後も増加が見込まれる
- ・ 今冬の学生ボランティア活動の取組結果や効果などを確認して検証を進める

【委員意見】

- ・ かき分け除雪後の雪処理には、ボランティア活動など福祉的な取組だけではカバーしきれないため、地域としても取り組まなければならない課題だと思う
- ・ 近所で困っている人を手伝うなど、市民が作業を楽しんだり、もっと雪かきに自ら積極的に取り組むよう機運を作ることが必要では（体操、ダンス）
- ・ 札幌市が小学生を対象に行っている、除雪をテーマにした雪体験授業などを今後も10年、20年と学校教育の一環で継続することが重要では



1 前回の振り返りと主な意見内容

■除排雪作業の手法検証(行政による費用負担を想定)

【事務局】

排雪手法のケーススタディ(ケース2: R5試験施工)

計算条件: 除雪対象の生活道路約3,800kmを対象、作業期間50日間、
持続可能な除排雪体制を想定し90班(2割減少)

	現 状		ケース2
対象延長	2,600km		3,800km
作業期間	35日間		50日間
排雪量	PS標準断面		PS標準より抑制
事業費	45億円 (行政35+地域10)		行政35億円+ α
最大作業班数	110班		90班

検証課題
「幹線道路の除排雪作業等の工程」や
「各区地区毎の除排雪体制」の調整が必要

R5試験施工の作業手法により「シーズンを通した期間」で
「1回ではなく2回に分けるなど道路状況に応じた」作業の可能性

⇒ 更なる作業の効率化に向け、今冬も試験施工を実施

※事業費等は想定値であり、今後の除排雪手法として決定したものではない

1 前回の振り返りと主な意見内容

■除排雪作業の手法検証(行政による費用負担を想定)

【委員意見】

- ・ パートナーシップ排雪の地域支払(負担)額は年々増加傾向にある。今後、地域の費用負担がなくなるようなことがあれば、費用負担感や不公平感は一気に解消されるのでは
- ・ 想定事業費35億円+ α の部分はどの程度の振れ幅なのか。雪の降り方や道路状況などによって様々なケースがあると思う
- ・ 生活道路の排雪時期を1月中旬まで前倒し(50日間に平準化)することにより、幹線道路や通学路の排雪時期と作業が重複する
- ・ (幹線道路の排雪は行わず)パートナーシップ排雪だけ行っている業者もいるため、作業班は試行錯誤により、対応できるかもしれないが、ダンプトラックの確保が懸念される
- ・ ダンプトラックは、幹線道路と生活道路ともに早い時期から少ない台数で排雪作業を継続的に続けられれば、不可能ではないかもしれない
- ・ (昼夜不規則な作業体制ではなく)効率的な夜間作業を連続できれば、働き方改革にもつながるのでは



2 除雪ボランティア活動の取組



2 除雪ボランティア活動の取組

東海大学 札幌ボランティアプロジェクト

■活動内容

- ・ 除雪作業にお困りの方から希望を募り、道路から玄関前などの雪かき作業を実施
- ・ 作業は学生メンバー15名でローテーション



出陣式

■募集方法

- ・ 除雪ボランティア活動の募集案内を地域に回覧
- ・ 希望者から学生担当者に電話・メール連絡

■今冬の活動結果

- ・ 活動期間 R6.12.7~R7.2.8
- ・ 依頼10件 実施6件



活動期間
2024/12/7~2025/2/14
上記期間中の土曜日を中心に活動を行う予定です。
※降雪状況により活動日は変更します。
※年末年始・テスト期間中(1/21~1/28)は活動を行いません。

札幌ボランティアプロジェクト
除雪活動開始

今年度も共同交通株式会社様のご協力をいただき、タクシーで移動しながら右記エリアを除雪をする予定です。除雪で
お困りの方がいましたら以下の電話番号
もしくはメールに情報をお知らせください。
※人員に限りがあるため、すべての除雪に対応が
できない場合があります。

除雪エリア(予定)

除雪を必要としている方のお名前・住所・連絡先をお知らせください

札幌ボランティアプロジェクト 代表電話
XXX-XXXX-XXXX

札幌ボランティアプロジェクト 代表メールアドレス
XXXXX@XXXXX

募集案内(回覧)

2 除雪ボランティア活動の取組

東海大学 札幌ボランティアプロジェクト

■活動事例の紹介 (R7.2.7)

- ・ 依頼者は、昨年体調を悪くして雪かきが困難な状況
- ・ 市の除雪作業後などは、玄関前の歩道を近所の方が協力して雪かき
- ・ 福祉車両の送迎・乗降りのために歩道部分を少しでもきれいに空けておきたい
- ・ 町内会の回覧で大学の活動を知り申し込み  

作業状況（歩道部に堆積した雪を移動しスペースを確保）



作業前



作業中



作業後

2 除雪ボランティア活動の取組

その他除雪ボランティア団体等へ支援(札幌市)

■除雪用具の貸出制度

- ・地域で行う除雪ボランティア活動の支援として除雪用具を無償貸出（道路や個人宅の間口、消火栓やごみステーション周辺などの除雪）
- ・町内会、学校、企業、NPOなどR6_55団体に貸出



■小型除雪機の貸出制度

- ・自主的に地域の除雪を行う町内会などに無償貸出（生活道路の道幅を広げる作業、高齢者宅周りの除雪作業など）
- ・福祉除雪の地域協力員に登録団体などにR6_40台を貸出



■小型除雪機械の購入補助制度

- ・安全装置が付いたハンドガイド型小型除雪機を対象
- ・補助金額は購入金額の1/2以内(上限50万円)
- ・町内会や除雪ボランティアを行う団体などR6_12件の申込



3 除排雪作業の試験施工

- 1) 小型ロータリ除雪車による積込作業など
- 2) 作業手法の検討課題



3 除排雪作業の試験施工（作業手法の検討）

1) 小型ロータリ除雪車による積込作業など

	町内会名	延長
白石区	① 北郷北部町内会、北郷瑞穂町内会(一部)	約7.2km
西区	② 二十四軒東第6町内会、二十四軒第7町内会	約4.8km
	③ 西町中の川町内会	約5.2km
手稲区	④ 新発寒向陽町内会	約6.6km
3区	4地域	約23.8km

検証ポイント

- ・ 様々な**除雪機械**を活用
- ・ 排雪作業時期の前倒し【検証中】
- ・ 1地域あたりの範囲を広げたスケールメリットの確認【検証中】



歩道除雪



拡幅除雪



雪をダンプトラックに積み込む作業に、通常は歩道除雪などにのみ使用している**小型ロータリ除雪車**を活用

3 除排雪作業の試験施工

小型ロータリによる作業状況（白石区北郷地区：積込作業）



小型ロータリ(全幅約1.3m)



【参考】大型ロータリ(全幅約2.6m)

小型ロータリによるダンプトラックへの積込作業は可能

	積込時間(10tダンプ1台)	機械保有台数
小型	約3分	188台(業者21台+市167台)
【参考】大型	約1分40秒	165台(業者148台+市17台)

大型ロータリに加えて、これまで生活道路の排雪作業に使用していない小型ロータリ活用による除排雪作業の効率化を検証

3 除排雪作業の試験施工

小型ロータリによる作業状況（白石区北郷地区：積込作業）



3 除排雪作業の試験施工

道路状況の変化（白石区北郷地区：道路幅員8m）

生活道路の除雪水準

幅員確保	圧雪厚 (路面の雪の厚さ)
1車線+歩 行空間以上 (概ね3.2m)	30cm程度



①施工前(R7.2.6)



通行幅:約3.7m 雪の厚さ:約19cm

②作業の様子(2.10)



路面の雪を削り、雪山をロータリで排雪

③施工直後(2.10)



通行幅:約4.5m 雪の厚さ:10cm以下

④施工10日後(2.20)



通行幅:約3.3m 雪の厚さ:約14cm

⑤施工17日後(2.27)



通行幅:約3.3m 雪の厚さ:約12cm

道路状況に応じた除排雪作業(日々の除雪+試験施工)により、**シーズン**を通した道路環境(除雪水準以上)を確保

3 除排雪作業の試験施工

【参考】道路状況の変化（豊平区西岡地区：道路幅員8m）

パートナーシップ排雪実施地域のイメージ ※ 通行幅は写真からの推定値



①施工前(2.10)

通行幅: 3.2mより広い



②施工3日後(2.17)

施工日
(2.14)

通行幅: 6m程度

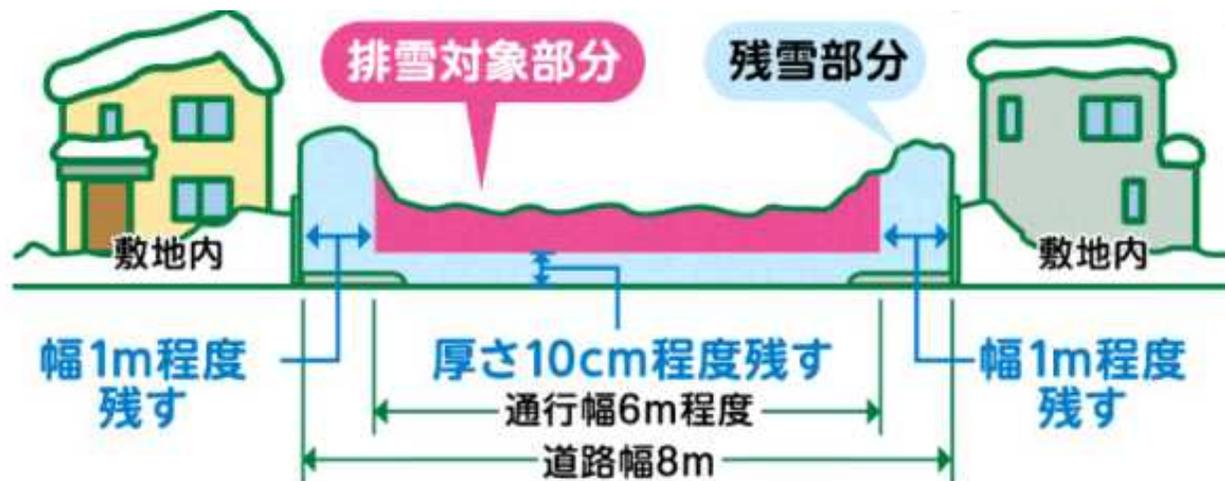


③施工11日後(2.25)

通行幅: 3.2mに近い

生活道路の除雪水準

幅員確保	圧雪厚 (路面の雪の厚さ)
1車線+歩 行空間以上 (概ね3.2m)	30cm程度



3 除排雪作業の試験施工

- 1) 小型ロータリ除雪車による積込作業など
- 2) 生活道路の作業手法の検討課題

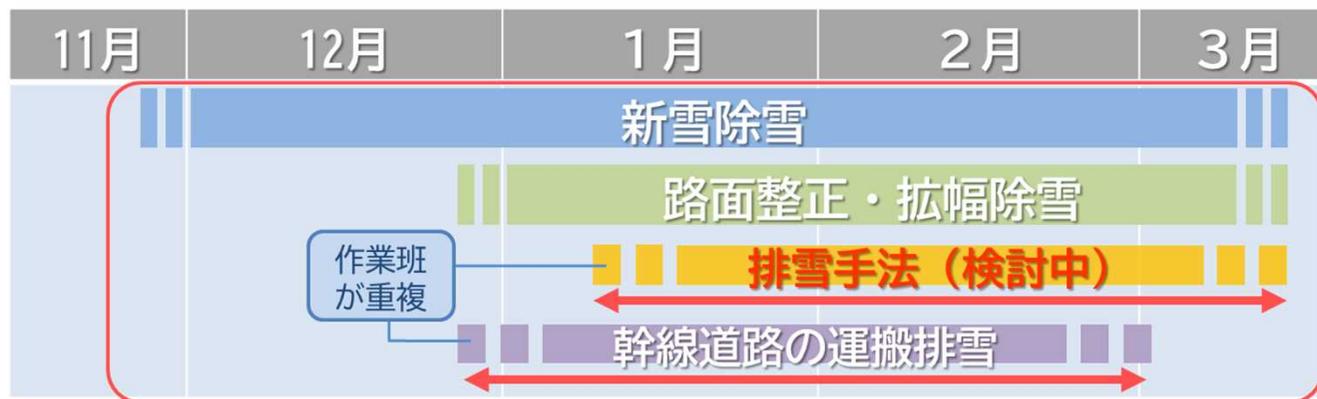


3 除排雪作業の試験施工

2) 生活道路の作業手法の検討課題

① 令和6年度 生活道路除排雪の試験施工の結果検証(3区4地域)

- ・ 地域アンケートによる評価・分析(メリット・デメリット)
- ・ 除雪事業者アンケートなどによる作業手法の改善点の確認
- ・ 積込作業への小型ロータリを活用、排雪作業時期の前倒しなどによる除排雪作業の効率化



② 令和7年度 生活道路除排雪の試験施工(予定)

- ・ 生活道路だけでなく幹線道路の運搬排雪等と工程調整をしながら、**面的に規模を広げて実施予定**
- ・ 引き続き限りある予算、機材、人材の中で可能な作業を検討

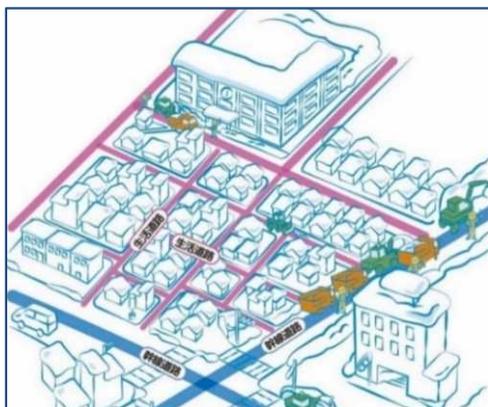
3 除排雪作業の試験施工

今後の検討スケジュールとパートナーシップ排雪制度等

令和7年度「札幌市雪対策審議会」を設置予定
持続可能な除排雪体制の在り方などの議論・検討を予定

	令和6年度	令和7年度
検討会	持続可能な生活道路 除排雪の在り方検討会	札幌市雪対策審議会 (予定)
パートナーシップ 排雪制度等	実施	継続

令和9年度_冬のみちづくりプラン策定予定



生活道路と幹線道路のイメージ図



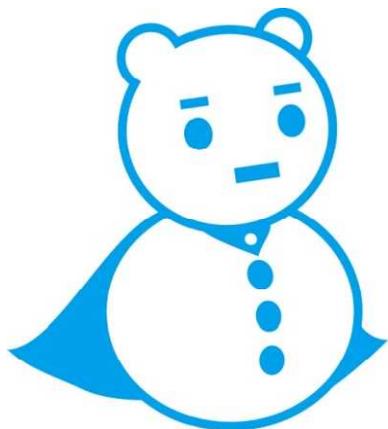
生活道路の除雪状況



幹線道路の除雪状況

「冬期道路環境など除排雪水準」や「除排雪の手法・体制の検討」など
生活道路除排雪の在り方も含めて除排雪全体で議論・検討を予定

4 意見交換やご議論いただきたい内容



4 意見交換やご議論いただきたい内容

1 除雪ボランティア活動の在り方について

- ・ 第1～3回検討会の主な意見内容の確認

2 生活道路除排雪の作業手法について

- ・ 第1～3回検討会の主な意見内容の確認